



おうちDEわんぱーく

2021年 3月30日

No. 28

子育て講座編

0・1・2歳児の喜怒哀楽

今回のテーマ

怒

は成長のしるし

怒りの感情を成長の兆しにとらえる
子どもも「怒り」は、ネガティブなものではなく、むしろポジティブなもの。子どもが怒りを表すときは、新しい力を獲得する前なのです！

年齢でどう変化していく？ 怒りの感情

0歳

1歳

2歳

運動能力が
伴わなくて **怒**

何かを選びたいけど
それが何かわからなくて **怒**

こっちがいいけど
思いどおりにならなくて **怒**

挑戦と失敗を切り返して成長していきませんが、思うように運動能力が伴わないことが多く、そんな時にイライラしてしまうことがあります。



ものを認識する力を身につけていく時期。気持ちをうまく伝えられないうちは、「嫌！」「違う！」とイライラしたり、かんしゃくを起こしたりもします。が・・・それが自我の芽生えの証！



意思が明確になる時期。嫌なこともはっきりとしているからこそ、自分の思い通りにならない時はイライラしてしまいます。

子どもの怒りと接する時のポイント！

怒りの感情を丸ごと
認めて見守る

怒りの感情に
優しく寄り添う
子どもの気持ちを代弁し、寄り添うことで、「自分の気持ちをわかってくれたんだ！」という安心できます。

冷静に短く伝える

感情的に注意すると、内容よりも「怖い！」という感情が残るだけ。簡潔に！

なぜダメなのかを
はっきり伝える

子どもが混乱してしまうため、「ダメ」の基準をかえない。

怒 ココを意識し接してみよう！

★行為は注意しても人格は否定しない・・・ 自分自身を否定されると、自己肯定感を持てなくなり、自尊心が低く、傷つきやすい子になってしまいます！

★嘘をつかないように、ことばに気をつける・・・ 気持ちが不安定になり、また混乱を招くことも。

大人が子どもの気持ちを理解しようとする、そのやりとりを通してコミュニケーション能力を学んでいきます！